

令和4年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
たんぽぽ保育園

1、保育目標

- 健康で明るい子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 自分のことは、自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 何故だろうと考え、物事に疑問を持つ子ども
- 自然に親しみ、愛することのできる子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の言葉で話せる子ども

2、施設運営の重点課題

- 郷土文化伝承の促進
- 保護者の多様なニーズに合わせた子育て支援
- 保育内容の充実
- 職員の資質向上
- 保育園食育指導の充実
- 地域の子育て支援
- 地域との交流や情報発信

3、評価項目と取り組み状況

評価の基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である
\	コロナ感染対策で実施しなかったため、評価なし

自己評価項目			評価	取り組み状況
1	郷土文化伝承の促進	・地域の昔から伝わる踊り「鬼剣舞」を保育に取り入れる	B	・コロナ感染防止のため、地域の方々に披露できなかった。運動会のみでの披露であった。
2	保護者の多様なニーズに合わせた子育て支援	・父母の勤務状況や子育て家庭のニーズに応え、様々な保育を行う。 ・町関係・専門機関との連携を密にしながら、よりよい子育て環境を提供していく。	A	・延長保育・障がい児保育・一時保育・病児保育・療育教室を行った。アレルギー児の対応等、保育士、栄養士、看護師それぞれの分野で専門職を活かし対応した。 ・町の保健師・療育教室・子育て支援センター・前沢明峰支援学校との連携を図り、療育につなげた。
3	保育内容の充実	・たくましい子を育てるために、乳幼児の健全な発達を目指し、保育内容の充実を図る	A	・保育日誌のエピソード記述を通し、保育の振り返りや次の実践につなげながら保育を進めた。

		・子どもの発達について理解し、一人ひとりの特性に応じた保育に取り組む。		・一人ひとりの家庭環境や発達をしっかりと捉え保育に取り組んだ。
4	職員の資質向上	・地域住民に信頼される保育実践と力量を持った保育者を目指す ・キャリアアップ研修とチーム研修に取り組む。 ・保護者と共に「たくましい子像」について共有する。	B	・キャリアアップ研修を受講することで、専門分野の理解を深めた。チーム研修は、「環境」「保護者支援」各4回「エピソード記述」は7回行った。「子どもを尊重する保育」の為の研修も行い保育の確認全職員で行った。 ・個別面談はクラスごとに時期をずらし全クラス行い、保護者と職員間での子ども理解につなげた。
5	保育園食育指導の充実	・「食を営む力」を育むため、保護者・地域との連携を深め、食えることや命への関心を高め、子どもの健やかな心と身体の健全育成を促す。	B	・コロナ感染対策をしながら、自分たちで育てた野菜を使ったクッキングを行い食えることで食への関心が広がった。 ・文化祭では、「給食コーナー」の展示を行い、保護者、祖父母に食育について啓蒙できた。
6	地域の子育て支援	金ケ崎町や関係機関との連携を図りながら、子育てネットワーク作りを進め、子育て支援を行う。	A	・一時保育を利用する保護者に寄り添い思いを聞き、一緒に子育ての悩みに共感しながら子育ての楽しさを共有できるようにした。 ・金ケ崎町の療育教室の委託を受けていることで保健師、相談専門員との連携をこまめに行った。
7	地域との交流の充実	・地域の様々な人たちと交流しながら、思いやりや優しさなどの心の発達を促す。 ・地域の隠れた場所・人材を発掘し、保育に生かす。	B	・コロナ感染防止のため、地域の方々との交流ができなかった。2名の中高生がボランティアにきた。南方地区センター便りに園の様子を掲載し地域の方にも園の様子を知ってもらった。 ・近隣の方に粃殻をもらいに行ったり熊野神社に笹竹をもらいに行き交流した。千貫石公園は5回行き金ケ崎の自然に触れた。